# 奈良時代の政治と権力闘争(2)

## ［ 橘諸兄政権と聖武天皇 ］

8 世紀の半ば、日本では疫病（とくに藤原四子も罹った天然痘）が蔓延していた。朝廷も例外ではなく、多くの人材が疫病により失われていたのだが、そのような状況の中、藤原四子の死後の朝廷で、聖武天皇のもと中心となって政局を動かしたのが、光明皇后の異父兄であった橘諸兄である。

橘諸兄政権の政治略年表

| | | |
|---|---|---|
| | （　　） | 「　　」が発生 |
| | | （　　［　　国］）へ遷都 |
| | （　　） | 「　　」の発布 |
| | （　　） | 「　　」の発布 |
| | | 「　　」の発布 |
| | 744 | （　　［　　国］）へ遷都 |
| | | （　　［　　国］）へ遷都 |
| | 745 | （　　［　　国］）へ還都 |
| | （　　） | 東大寺大仏開眼供養会の開催 |
| | 754 | （　　）が来京し戒律を伝える |

### ○有能な政治顧問の登用

橘諸兄は、藤原氏などに代表されるような貴族ではなく、遣唐使として唐で学んだ経験のある知識人であった（　　）や（　　）を政治顧問として登用した。

⬇

これに対し、740 年,（　　）の子であった（　　）が、玄昉と吉備真備の排除を求めて大宰府にて反乱を起こした（「　　」）。

### ○繰り返される遷都

藤原広嗣の乱を鎮圧したのち、同年 740 年,突然に聖武天皇は（　　京［　　国］）への遷都を行う。その後も 744 年に（　　宮［　　国］)、(　　宮［　　国］）へと遷都が繰り返されたものの、745 年には結局、平城京へと還都された。

平城京 〈 元明 〉 →740→ 恭仁京 〈 聖武 〉 →744→ 難波宮 〈 聖武 〉 →744→ 紫香楽宮 〈 聖武 〉 →745→ 平城京 〈 聖武 〉

### ○鎮護国家仏教思想の隆盛

8 世紀半ば、（　　）の流行や飢饉の多発により、官僚を含めた民衆の間で多くの死者が出るなど社会的不安が広がった。一方で、740 年には聖武天皇のバックボーンであった藤原氏一族の一人が挙兵するという（　　）が発生するなど政治的不安も深

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

刻化していた。このような国家の危機的状況をうけ、聖武天皇は深く仏教に帰依するようになり、聖武天皇の時代には、仏教によって国を鎮め護ろうとする“　　仏教“の思想が隆盛した。

□「　　」(　　)年

⇒ 仏教による鎮護国家を図るため、各国に(　　)と(　　)を建立することを定めた詔。大和国の(　　寺)が総国分寺、(　　寺)が総国分尼寺とされ、全国の国分寺・国分尼寺の総本山とされた。なお国分寺の正式名称を(　　)、国分尼寺の正式名称を(　　)と呼び、前者には僧を(　　)人、後者には尼を(　　)人置くことが定められた。

□「　　」(　　)年

⇒ 仏教による鎮護国家を図るために出された詔。当初は(　　)の甲賀寺にて大仏の造立が進められていたが、山火事が続いたために断念。平城京への還都に伴い、747 年から東大寺にて(　　)が建立が開始された。多くの民衆を動員したほか、民衆から厚い支持を得ていた(　　)の活躍もあり、743 年からの造仏事業はついに完了。752 年には(　　)が行われた。

□(　　)の来日

⇒ 中国唐の僧で、日本における仏教(　　)宗の開祖。来日のために 5 回渡航を試みるが失敗、加えてその間に失明したが、6 度目の渡航で来日に成功。(　　寺)に(　　)を設け(のち　　が設立される)て、聖武上皇や孝謙天皇らをはじめ多くの人に(　　)を行い、日本仏教界に正式な(　　)制度を伝えた。京内に(　　)を創建し、同地にて死去。

## ○深刻な財政難と民衆の疲弊

・聖武天皇により繰り返された遷都,造寺,造仏により、朝廷は深刻な財政難に陥ったほか、多くの民衆が労働力として駆り出されために、疲弊した

若い頃から実力を見出され、高級官僚として活躍した奈良時代の女性として(　　)の名が挙げられる。彼女と美努王との間に生まれた男君が(　　)であり、聖武・孝謙天皇のもとで政局を動かした。後に(　　)と再婚して生まれた女君が(　　)であり、聖武天皇に嫁いで人臣初の皇后となった。県犬養橘三千代は歴史的に重要な 2 人の人物の母として、藤原氏・橘氏両家の繁栄の礎を築いたのである。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。

全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

# ［ 藤原仲麻呂(恵美押勝)政権 ］

聖武天皇の妻である光明皇后は、聖武天皇の孝謙天皇への譲位に伴い、光明皇太后となる。皇太后が政治を行うための役所として設置されたのが（　　[もと　　]）であるが、その長官として活躍し、叔母である光明皇太后の信任を受けて台頭し、権力を確立したのが藤原仲麻呂である。

藤原仲麻呂政権の政治略年表

| | |
|---|---|
| （　　） | 「　　」の施行 |
| | 「　　」が発生 |
| 758 | （　　）天皇を擁立、即位させる。 |
| | →（　　）の名を賜る |
| 760 | 人臣初の（　　）となる |
| 764 | 「　　」により敗死 |

他にも…　・官名の唐風化を実施
・（　　）の征討を計画

## ○反乱の鎮圧

757 年、橘諸兄の子である（　　）を中心に進められた、反藤原仲麻呂勢力による政権打倒計画（「　　」）を未然に鎮圧。

## ○積極的な農民政策

・（　　）を半減する（60 日→30 日に）。ただし、仲麻呂の死後、元に戻される。
・（　　）を設置。
↳ 地方行政の実情を知るべく七道に派遣され、農民負担の軽減や貧病者の救済にあたった令外官

## ○淳仁天皇の擁立と反藤原仲麻呂勢力の台頭

藤原仲麻呂は 758 年，舎人親王の子である大炊王を擁立し、（　　）天皇として即位させた。（　　）は仲麻呂が、即位後の淳仁天皇から賜った名前である。

⬇

仲麻呂の後ろ盾であった（　　）の死去に伴ない、仲麻呂の傀儡（かいらい）であった淳仁天皇の即位をおもしろくおもわない孝謙上皇や、孝謙上皇からの寵愛を受けていた道鏡を始めとする反藤原仲麻呂勢力が次第に台頭。

⬇

反逆者とされた藤原仲麻呂は反乱を起こすが、孝謙上皇軍に一族ともに討ち取られ、764 年,藤原仲麻呂政権は終わりを迎える（「　　」）。

# ［ 道鏡政権 ］

恵美押勝の乱後、淳仁天皇は廃されて淡路に流され（＝‘‘　　‘‘）、孝謙上皇が（　　）天皇として再び即位した。日本史史上二回目の（　　）である。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

道鏡政権の政治略年表

| | | |
|---|---|---|
| | 764 | 孝謙上皇が重祚して（　　）天皇が即位 |
| | 765 | 「　　」の発令 |
| | | 道鏡が（　　）となる |
| | 766 | 道鏡が（　　）となる |
| | （　　） | 「　　」の発生 |
| | 770 | 称徳天皇崩御、道鏡は下野薬師寺に左遷 |

孝謙上皇(称徳天皇)は、仏教法相宗の僧侶であった（　　）を寵愛し、称徳天皇のもとで、信任と権力を得た道鏡によって仏教政治が行われた。称徳天皇から道鏡に対して、765 年には（　　）、766 年には（　　）という非常に高い地位を与えられた。日本史史上異例の大出世である。なぜ一僧侶である道鏡がこれほどまでに寵愛され、高い地位を与えられたかということに関しては諸説あるが、561 年,病に倒れた孝謙上皇を道鏡が呪術的治療より治癒したというのがきっかけとされている。権勢をふるう道鏡のもとで、朝廷の要職も道鏡と縁のある人物が占めるようになり、権力と欲にまみれた朝廷政治は腐敗した。

### ○道鏡皇位事件の発生

仏教が政治に大きく関与して、道鏡の権力が拡大していく中、（　　）年,天皇の存在を大きく揺るがすような事件が発生する。「　　」である。

□「　　」（　　）年

⇒（　　）という天皇に準じる高い地位を得た道鏡が、次の天皇位を得ようとして、（　　）らによって阻止された事件。

--経緯--

①769 年,豊前国の（　　）が、「次の天皇を道鏡すれば天下は太平になる」という旨の神託を称徳天皇に奏上。

②真偽を確かめるべく、称徳天皇は（　　）を宇佐八幡宮に派遣

③清麻呂は「天皇は必ず皇族から出すべし、道鏡は排除せよ」との旨の新たな神託を得、称徳天皇に奏上。

④道鏡を皇位につけたがっていたとされる称徳天皇はこれを聞いて怒り、和気清麻呂らを左遷。ただし、道鏡を皇位につけることは神託に背くことになるので断念した。

権勢をふるった道鏡のもと、その後も政治的な混乱は続いたが、後ろ盾であった称徳天皇の崩御に伴い、道鏡は失脚。（　　）に左遷されて、道教政権は終わりを迎えた。

## ［ 藤原百川政権 ］

称徳天皇の死後、（　　［　家］）は、新たに白壁王を擁立し、（　　）天皇として即位させた。これによって天武系皇室は途切れ、（　　）系皇室が復活した。

［ 解答例 ］

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

8 世紀後半には、疫病や飢饉が流行し社会的不安が広がった一方で、疫病による人材の喪失や藤原広嗣の乱の発生など政治的混乱も深刻化した。聖武天皇は鎮護国家思想により、この危機を乗り越えようとした。国ごとの鎮護のために国分寺と国分尼寺が、全国の鎮護のために大仏が造立されたほか、仏教が国家の統制のもと管理され、鑑真を招聘して日本に正式な戒律制度を伝えさせたほか、行基を容認して民間布教を管理した。

（194 文字）

［ 解答例 ］

叔母である光明皇太后の信頼を得た藤原仲麻呂は、自らの傀儡（かいらい）として淳仁天皇を擁立したが、光明皇太后の死後は孝謙上皇を始めとする反仲麻呂勢力が台頭し、恵美押勝の乱にて敗死した。淳仁天皇は廃され、孝謙上皇が重祚して称徳天皇として即位し、道鏡に太政大臣禅師・法王の地位を与え、道鏡は仏教政治を行った。（149 文字）

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

問. 聖武天皇が仏教政策を行うに至った背景について、当時の社会情勢を考慮に入れて述べるとともに、行われた具体的な仏教政策について 200 文字以内で述べよ。

問. 藤原仲麻呂政権から道鏡政権へと政局が変遷する過程について、それぞれの政権の権力基盤について触れながら、150 文字以内で述べよ。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

# 奈良時代の政治と権力闘争(2)

## ［ 橘諸兄政権と聖武天皇 ］

8 世紀の半ば、日本では疫病（とくに藤原四子も罹った天然痘）が蔓延していた。朝廷も例外ではなく、多くの人材が疫病により失われていたのだが、そのような状況の中、藤原四子の死後の朝廷で、聖武天皇のもと中心となって政局を動かしたのが、光明皇后の異父兄であった橘諸兄である。

橘諸兄政権の政治略年表

| | | |
|---|---|---|
| 聖武 | (740) | 「 藤原広嗣の乱 」が発生 |
| | | ( 恭仁京 ［ 山背 国］) へ遷都 |
| | (741) | 「 国分寺建立の詔 」の発布 |
| | (743) | 「 墾田永年私財法 」の発布 |
| | | 「 大仏造立の詔 」の発布 |
| | 744 | ( 難波宮 ［ 摂津 国］) へ遷都 |
| | | ( 紫香楽宮［ 近江 国］) へ遷都 |
| | 745 | ( 平城京 ［ 大和 国］) へ還都 |
| 孝謙 | (752) | 東大寺大仏開眼供養会の開催 |
| | 754 | ( 鑑真 ) が来京し戒律を伝える |

### ○有能な政治顧問の登用

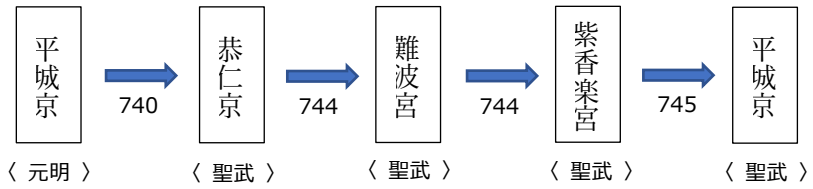
橘諸兄は、藤原氏などに代表されるような貴族ではなく、遣唐使として唐で学んだ経験のある知識人であった（ 玄昉 ）や（ 吉備真備 ）を政治顧問として登用した。

⬇

これに対し、740 年,（ 藤原宇合 ）の子であった（ 藤原広嗣 ）が、玄昉と吉備真備の排除を求めて大宰府にて反乱を起こした（「 藤原広嗣の乱 」）。

### ○繰り返される遷都

藤原広嗣の乱を鎮圧したのち、同年 740 年,突然に聖武天皇は（ 恭仁 京［ 山背 国］）への遷都を行う。その後も 744 年に（ 難波 宮［ 摂津 国］)、( 紫香楽 宮［ 近江 国］）へと遷都が繰り返されたものの、745 年には結局、平城京へと還都された。




### ○鎮護国家仏教思想の隆盛

8 世紀半ば、( 疫病 ) の流行や飢饉の多発により、官僚を含めた民衆の間で多くの死者が出るなど社会的不安が広がった。一方で、740 年には聖武天皇のバックボーンであった藤原氏一族の一人が挙兵するという（ 藤原広嗣の乱 ）が発生するなど政治的不安も深刻

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

化していた。このような国家の危機的状況をうけ、聖武天皇は深く仏教に帰依するようになり、聖武天皇の時代には、仏教によって国を鎮め護ろうとする“　鎮護国家　仏教“の思想が隆盛した。

□「　　国分寺建立の詔　　」（ 741 ）年

⇒ 仏教による鎮護国家を図るため、各国に（ 国分(僧)寺 ）と（ 国分尼寺 ）を建立することを定めた詔。大和国の（ 東大 寺）が総国分寺、（ 法華 寺）が総国分尼寺とされ、全国の国分寺・国分尼寺の総本山とされた。なお国分寺の正式名称を（ 金光明四天王護国之寺 ）、国分尼寺の正式名称を（ 法華滅罪ノ寺 ）と呼び、前者には僧を（ 20 ）人、後者には尼を（ 10 ）人置くことが定められた。

□「　　大仏造立の詔　　」（ 743 ）年

⇒ 仏教による鎮護国家を図るために出された詔。当初は（ 紫香楽宮 ）の甲賀寺にて大仏の造立が進められていたが、山火事が続いたために断念。平城京への還都に伴い、747 年から東大寺にて（　盧舎那仏　）が建立が開始された。多くの民衆を動員したほか、民衆から厚い支持を得ていた（ 行基 ）の活躍もあり、743 年からの造仏事業はついに完了。752 年には（ 東大寺大仏開眼供養会 ）が行われた。

□（ 鑑真 ）の来日

⇒ 中国唐の僧で、日本における仏教（　律　）宗の開祖。来日のために 5 回渡航を試みるが失敗、加えてその間に失明したが、6 度目の渡航で来日に成功。（ 東大 寺）に（ 戒壇 ）を設け（のち 戒壇院 が設立される）て、聖武上皇や孝謙天皇らをはじめ多くの人に（ 授戒 ）を行い、日本仏教界に正式な（ 戒律 ）制度を伝えた。京内に（ 唐招提寺 ）を創建し、同地にて死去。

## ○深刻な財政難と民衆の疲弊

・聖武天皇により繰り返された遷都,造寺,造仏により、朝廷は深刻な財政難に陥ったほか、多くの民衆が労働力として駆り出されために、疲弊した

若い頃から実力を見出され、高級官僚として活躍した奈良時代の女性として（ 県犬養橘三千代 ）の名が挙げられる。彼女と美努王との間に生まれた男君が（　橘諸兄　）であり、聖武・孝謙天皇のもとで政局を動かした。後に（ 藤原不比等 ）と再婚して生まれた女君が（　光明子　）であり、聖武天皇に嫁いで人臣初の皇后となった。県犬養橘三千代は歴史的に重要な 2 人の人物の母として、藤原氏・橘氏両家の繁栄の礎を築いたのである。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

# ［ 藤原仲麻呂(恵美押勝)政権 ］

聖武天皇の妻である光明皇后は、聖武天皇の孝謙天皇への譲位に伴い、光明皇太后となる。皇太后が政治を行うための役所として設置されたのが（ 紫微中台 ［もと 皇后宮職 ］）であるが、その長官として活躍し、叔母である光明皇太后の信任を受けて台頭し、権力を確立したのが藤原仲麻呂である。

藤原仲麻呂政権の政治略年表

| | | |
|---|---|---|
| 孝謙 | (757) | 「 養老律令 」の施行 |
| | | 「 橘奈良麻呂 」が発生 |
| 淳仁 | 758 | （ 淳仁 ）天皇を擁立、即位させる。 |
| | | →（ 恵美押勝 ）の名を賜る |
| | 760 | 人臣初の（ 太政大臣 ）となる |
| | 764 | 「 恵美押勝の乱 」により敗死 |

他にも…
・ 官名の唐風化を実施
・（ 新羅 ）の征討を計画

## ○反乱の鎮圧

757 年、橘諸兄の子である（ 橘奈良麻呂 ）を中心に進められた、反藤原仲麻呂勢力による政権打倒計画（「 橘奈良麻呂の乱 」）を未然に鎮圧。

## ○積極的な農民政策

・（ 雑徭 ）を半減する（60 日→30 日に）。ただし、仲麻呂の死後、元に戻される。
・（ 問民苦使 ）を設置。
↳ 地方行政の実情を知るべく七道に派遣され、農民負担の軽減や貧病者の救済にあたった令外官

## ○淳仁天皇の擁立と反藤原仲麻呂勢力の台頭

藤原仲麻呂は 758 年，舎人親王の子である大炊王を擁立し、（ 淳仁 ）天皇として即位させた。（ 恵美押勝 ）は仲麻呂が、即位後の淳仁天皇から賜った名前である。

⬇

仲麻呂の後ろ盾であった（ 光明皇太后 ）の死去に伴ない、仲麻呂の傀儡（かいらい）であった淳仁天皇の即位をおもしろくおもわない孝謙上皇や、孝謙上皇からの寵愛を受けていた道鏡を始めとする反藤原仲麻呂勢力が次第に台頭。

⬇

反逆者とされた藤原仲麻呂は反乱を起こすが、孝謙上皇軍に一族ともに討ち取られ、764 年,藤原仲麻呂政権は終わりを迎える（「 恵美押勝の乱 」）。

# ［ 道鏡政権 ］

恵美押勝の乱後、淳仁天皇は廃されて淡路に流され（＝“ 淡路廃帝 “）、孝謙上皇が（ 称徳 ）天皇として再び即位した。日本史史上二回目の（ 重祚 ）である。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。

全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

道鏡政権の政治略年表

| | | |
|---|---|---|
| 称徳 | 764 | 孝謙上皇が重祚し（ 称徳 ）天皇が即位 |
| | 765 | 「 加墾禁止令 」の発令 |
| | | 道鏡が（ 太政大臣禅師 ）となる |
| | 766 | 道鏡が（ 法王 ）となる |
| | (769) | 「 宇佐八幡宮信託事件 」の発生 |
| | 770 | 称徳天皇崩御、道鏡は下野薬師寺に左遷 |

孝謙上皇(称徳天皇)は、仏教法相宗の僧侶であった（ 道鏡 ）を寵愛し、称徳天皇のもとで、信任と権力を得た道鏡によって仏教政治が行われた。称徳天皇から道鏡に対して、765 年には（ 太政大臣禅師 ）、766 年には（ 法王 ）という非常に高い地位を与えられた。日本史史上異例の大出世である。なぜ一僧侶である道鏡がこれほどまでに寵愛され、高い地位を与えられたかということに関しては諸説あるが、561 年,病に倒れた孝謙上皇を道鏡が呪術的治療より治癒したというのがきっかけとされている。権勢をふるう道鏡のもとで、朝廷の要職も道鏡と縁のある人物が占めるようになり、権力と欲にまみれた朝廷政治は腐敗した。

### ○道鏡皇位事件の発生

仏教が政治に大きく関与して、道鏡の権力が拡大していく中、（ 769 ）年,天皇の存在を大きく揺るがすような事件が発生する。「 宇佐八幡宮信託事件 」である。

□「 宇佐八幡宮信託事件（道鏡皇位事件） 」（ 769 ）年
⇒（ 法王 ）という天皇に準じる高い地位を得た道鏡が、次の天皇位を得ようとして、（ 和気清麻呂 ）らによって阻止された事件。

--経緯--
①769 年,豊前国の（ 宇佐八幡宮 ）が、「次の天皇を道鏡すれば天下は太平になる」という旨の神託を称徳天皇に奏上。
②真偽を確かめるべく、称徳天皇は（ 和気清麻呂 ）を宇佐八幡宮に派遣
③清麻呂は「天皇は必ず皇族から出すべし、道鏡は排除せよ」との旨の新たな神託を得、称徳天皇に奏上。
④道鏡を皇位につけたがっていたとされる称徳天皇はこれを聞いて怒り、和気清麻呂らを左遷。ただし、道鏡を皇位につけることは神託に背くことになるので断念した。

権勢をふるった道鏡のもと、その後も政治的な混乱は続いたが、後ろ盾であった称徳天皇の崩御に伴い、道鏡は失脚。（ 下野国薬師寺 ）に左遷されて、道教政権は終わりを迎えた。

## ［ 藤原百川政権 ］

称徳天皇の死後、（ 藤原百川［ 式 家］）は、新たに白壁王を擁立し、（ 光仁 ）天皇として即位させた。これによって天武系皇室は途切れ、（ 天智 ）系皇室が復活した。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。

全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

［ 解答例 ］

8 世紀後半には、疫病や飢饉が流行し社会的不安が広がった一方で、疫病による人材の喪失や藤原広嗣の乱の発生など政治的混乱も深刻化した。聖武天皇は鎮護国家思想により、この危機を乗り越えようとした。国ごとの鎮護のために国分寺と国分尼寺が、全国の鎮護のために大仏が造立されたほか、仏教が国家の統制のもと管理され、鑑真を招聘して日本に正式な戒律制度を伝えさせたほか、行基を容認して民間布教を管理した。

（194 文字）

［ 解答例 ］

叔母である光明皇太后の信頼を得た藤原仲麻呂は、自らの傀儡（かいらい）として淳仁天皇を擁立したが、光明皇太后の死後は孝謙上皇を始めとする反仲麻呂勢力が台頭し、恵美押勝の乱にて敗死した。淳仁天皇は廃され、孝謙上皇が重祚して称徳天皇として即位し、道鏡に太政大臣禅師・法王の地位を与え、道鏡は仏教政治を行った。（149 文字）

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/

問. 聖武天皇が仏教政策を行うに至った背景について、当時の社会情勢を考慮に入れて述べるとともに、行われた具体的な仏教政策について 200 文字以内で述べよ。

問. 藤原仲麻呂政権から道鏡政権へと政局が変遷する過程について、それぞれの政権の権力基盤について触れながら、150 文字以内で述べよ。

本教材に関する知的財産権やその他一切の権利は著作権者に属します。
また、当教材の一部ないし全部につき、無断複製・転載を禁止します。



全ての受験生に贈る高校日本史「すべ日」
https://www.sube-nichi.com/